

令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県央会場

科目 ⑪保護者との連携・協力と相談支援

- ◆ 保護者の気持ちに寄り添うことの大事さを学びました。関係性の構築、保護者も一人の人として認める、他とは同じに考えず、寄り添い、自己決定を尊重してあげることが大事なのだと感じました。あとは保護者へプラスイメージで接していくようにし、視線を合わせて話を聞いたり話したりしながら、保護者とのパーソナルスペースを詰めていき、信頼関係を築いていけたらなと思います。
- ◆ 保護者との連携、協力と相談支援について、保護者と一緒に考える、育てるという気持ちが大切であるということを改めて学びました。人間関係は簡単に築けるものではないので、自分自身の保護者に対するイメージが体全体に出てしまうので、子どもに対しても保護者に対してもプラスに捉えて生活していきたいと思いました。また、利用者である保護者が自己決定できるように納得できるまで話を聞くことなど、保育の中でも活かせることが特に勉強になりました。
- ◆ 保護者との信頼関係は、ひたすら傾聴・受容・共感的理解から構築されることを理解しました。保護者と子どもに共感し、互いの気持ちを肯定的に捉え、子育てを応援する気持ちをもって接していきたいです。そして、グループワークで体験したことを忘れずに、保護者と柔らかな関係を築き、日頃から思いやりをもって伝える関わりをしていきたいと思います。
- ◆ 保護者対応については、非言語コミュニケーションの重要性を知りました。現在は、マスクを付けた状態での会話がほとんどであるため、より一層ジェスチャーや口調に気を付けたいと思います。また、「伝えたいこと」ではなく、「伝わったこと」が真実となるという言葉をお忘れなく心に掛けていきたいです。特に、子どもに関する保護者とのやりとりは内容が多岐にわたるので、保護者の気持ちに寄り添いつつ支援していきたいです。
- ◆ 子どもの健やかな成長のためには、保護者とつながり、協力していくことが大切です。コミュニケーション技術として、相手に視線を合わせることの大切さ、パーソナルスペースは個々で違うこと、非言語コミュニケーションの重要性を学びました。その人の背景を思いやり、肯定的に捉え、自分の価値観の押しつけにならないよう、自分のフィルターの精度を高めるために学び続けていきたいです。